

2012年4月5日

報道関係者各位

サノフィ・アベンティス株式会社
アルフレッサ ホールディングス株式会社

抗てんかん薬「ビガバトリン」の共同開発契約の締結について

サノフィ・アベンティス株式会社（本社：東京都新宿区、社長：ジェズ・モールディング、以下「サノフィ・アベンティス」）とアルフレッサ ホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：石黒 傳六）の子会社で医薬品等製造事業を行うアルフレッサ ファーマ株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：岩谷 健一郎、以下「アルフレッサ ファーマ」）は、サノフィ・アベンティスの抗てんかん薬「ビガバトリン」（ γ -アミノ酪酸（GABA）分解酵素阻害剤）の日本における開発に関して、共同開発契約を締結しましたのでお知らせいたします。

ビガバトリンは、1989年に英国で最初に承認されている抗てんかん薬です。欧米では **Sabril®** の製品名で販売されており、英国の治療ガイドラインでは乳幼児においてみられる点頭てんかんの第一選択薬に位置づけられています。日本では、先ごろ厚生労働省の「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」において、この点頭てんかんに対するビガバトリンの必要性が検討され、サノフィ・アベンティスが正式に開発要請を受けました。

アルフレッサ ファーマは、サノフィ・アベンティスがビガバトリンの製造販売承認を取得するための開発を行うにあたり、その開発業務に協力することを合意し、当該契約締結に至りました。

両社はこの契約に基づき、点頭てんかんの患者さんにビガバトリンをお届けできるよう、協力して開発を進めてまいります。

以上

サノフィ・アベンティス株式会社について

サノフィ・アベンティスは、約 3,000 人の社員を擁し、「日本の健康と笑顔に貢献し、最も信頼されるヘルスケアリーダーになる」というビジョンのもと、主要治療領域である糖尿病、オンコロジー、血栓症、循環器疾患、内科系疾患、中枢神経系疾患において、患者さんの治療に貢献する医療用医薬品の研究開発、製造・販売を行っています。サノフィ・アベンティスは、サノフィ・グループの一員です。

アルフレッサ ホールディングス株式会社について

アルフレッサ ホールディングスは、医薬品等卸売事業および医薬品等製造事業等を行うグループ会社の持ち株会社です。2011年3月期の連結売上高は2兆1,833億円、連結の従業員数は10,956名です。詳細はインターネットをご覧ください。 <http://www.alfresa.com/>

アルフレッサ ファーマ株式会社について

アルフレッサ ファーマは、アルフレッサグループの製造事業会社で「予防」「診断」「治療」の医療プロセスを総合的に見据え、医薬品、診断薬、医療機器を柱に研究・開発・製造・販売を行っています。2011年3月期の売上高は252億円、従業員数は665名です。詳細はインターネットをご覧ください。 <http://www.alfresa-pharma.co.jp/>